

病院長	地域医療連携部長	看護部長	事務部長	医療連携室

2023年度 第3回地域医療支援運営委員会議事録

日時 2023年11月16日(木) 14:00~15:00

場所 藤田医科大学岡崎医療センター大会議室2 / ハイブリッド形式

司会 市川 邦宏

出席者 【院外】(Zoom) 升川 浩子、青木 裕明、片岡 博喜、大島 陽太(代理)
(来訪) 鈴木 勝久、加藤 政幸

【院内】鈴木 克侍、小島 菜保子、越村 公宣(代理)

欠席者 【院外】田那村 収、金澤 一徳

【院内】碓氷 章彦

(敬称略)

1. 開会

・病院長より挨拶

現在、当院入院中のコロナ陽性患者さんは0人となった。愛知県でもコロナ陽性患者さんは減少している。11か所の定点観測によると1週間で3.6人しかコロナ患者さんはおりません。しかし、インフルエンザにおいては岡崎市で47人いる(1週間で1つの医療機関を測定)。愛知県では195箇所の定点観測があり平均35人、30人以上になると重大事項となり、非常に増えている状況である。また、あらゆる学校(未就学園、小中高や専門学校等)で学級閉鎖も発生しており、インフルエンザが流行するのは、コロナ流行前の年以来、実に4年ぶりである。皆様におかれましては日頃の手洗い・うがい・マスク着用・ワクチン接種等感染予防に引き続き注意なさってください。また、インフルエンザ流行地域は定点別で西尾市が82人と多く、次いで豊田市の55人である。本日はよろしくお願ひ申し上げます。(鈴木)

2. 当院からの報告(資料①)

・資料①の通り

委員変更の案内、前方/後方連携の実績、共同利用の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研修活動、当院からのお知らせを報告。(鈴木)

3. 各委員からご意見ご要望等

【岡崎市医師会 理事 升川浩子】

いつもお世話になっております。救急患者の受入体制がしっかりされており、感謝申し上げます。また、紹介状を差し上げた患者さんの適正な加療、逆紹介をきちんとしてくださり良好な病診連携が行われていると感じます。医師会会員も大変喜んでおられます。今後も救急体制を維持していただき、良好な病診連携を継続していきたい。よろしくお願ひいたします。
→当院では紹介患者さんの返書については、常に100%を目指しているが、1ヶ月遅れてしまう事例もある。遅れた際には少々お待ちいただければ幸いである。現在、9月分までは100%作成しており、11月分が少し遅れている状況である。引き続き早急な返書対応に努める。

逆紹介について、紹介元にしっかりお返ししておりますが、半年で6件ばかり誤って別の医療機関にFAX送信してしまう事例が発生した。個人情報保護法の観点からも今後は同様な事例がないよう厳重に注意してまいります。(鈴木)

【岡崎市保健所 所長 片岡博喜】

大変お世話になっております。気になる点がございまして、1日平均入院延べ患者数・病床稼働率(スライド5ページ目)の8月推移が突出している要因は何かお教えいただきたい。

→8月はコロナ患者さんが20人ほど入院していた。また、夏休みを利用して学生さんや労働者の方が予約して入院手術等をすることが多かったことで推移が上がった。(鈴木)

【岡崎歯科医師会 理事 大島陽太】

田中会長の代理で出席させていただいております。私事ではありますが、つい先日実母が岡崎医療センターにパーキンソン病で入院しておりまして、その節は大変お世話になりました。感謝申し上げます。さて、岡崎歯科医師会といたしましては、周術期における医科歯科連携についてお願いしたいことがございます。歯科で周術期関連の管理を算定できる手術および算定できない手術がございます。時々算定できない手術の患者さんが文書を持って来院されるケースがあります。医科の先生から歯科を経由しないケースに多い印象です。可能であれば歯科の診療報酬を理解している岡崎医療センターの歯科を窓口として連携いただくとそのような事例は減らせるのではないかと考えております。また、手術のタイミング等で仕方のないことかもしれませんが、ギリギリになって突然患者さんが依頼文書を持って来院されるケースもあります。可能であれば時間に余裕をもって連携していただければ幸いです。

→大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。当院歯科は本院の歯科から毎日日替わりで医師が来ており、入院中患者さんの歯科治療を行っている。週に20~30人の手術を行っており、それらの患者さんの手術前管理をしているためかなり苦慮している。周術期管理について、まだまだ未熟な医科の医師も多い状況ではあるが、しっかり知見のある医師および歯科医師を通して対応する。今後、本院の歯科医師増員が図れば、当院に常勤医を配置することが可能になる。先生方へご迷惑おかけすることも減っていくかと思えます。引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。(鈴木)

【岡崎薬剤師会 副会長 青木裕明】

最近、当薬局へ岡崎医療センターからの処方箋を持って来院される患者さんや逆紹介後の継続処方依頼を求める患者さんが何名か増えてまいりました。まさに地域連携がしっかり取れている賜物かなと感じます。地域の先生方から処方される薬と岡崎医療センターから処方される薬で作用が重複しているものや相互作用の懸念がみられるものに対し、疑義紹介を岡崎医療センターに依頼することがある。医師と直接お話ができ処方の変更や新たな薬の提案など意見を交わすことで患者さんにとって役に立っているかと思えます。日々勉強させていただいてありがたく思っております。また、先ほどのインフルエンザのお話の件、2週間前に息子の学校でも学級閉鎖がありました。息子は兵庫県の中学校に新幹線を通っているのですが、学校に行くまで閉鎖状況が分からない状況でした。先日6:11の岡崎駅発の電車に乗って兵庫の学校についてクラスに入ったところ、黒板に学級閉鎖と書かれていたそうです。約2時間かけて通学したにもかかわらずそのまま帰路に向かうという事例もございました。学級閉鎖した期間については学習要綱が短縮されないため、学級閉鎖明けに試験などがあり教育状況の大変さを感じました。薬局側でもインフルエンザやコロナの状況に関しても敏感に察知させていただきまして、現在医薬品の供給不足で中々処方医の先生方の治療に基づくような

処方内容の薬が揃えられない状況でもあります。特に咳止めや漢方の薬が物凄く不足しています。可能な限り私たちも岡崎薬剤師会をあげて一生懸命薬の過不足がないように安心して医薬品を提供できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

→疑義照会にならないよう我々も処方しなければならない。しかし、多剤投与や他施設で処方されている患者さん等様々であるが、おくすり手帳等を通して確認しても漏れが出ているのは確かである。疑義照会に対してはしっかり対応し我々も勉強していきたい。また、コロナ禍以降様々な医薬品の供給不足が起きているが、岡崎地区は他地区と比べても対応が非常に良い。先生方のご努力には大変感謝している。(鈴木)

【岡崎市立岡崎小学校 校長 鈴木勝久】

9月20日に学校保健委員会を開いたところ、今年度も看護部長の小島様、看護主任の平野様にお越しいただき、今年は「メディアとより良く付き合えるようになろう、ぐっすり眠れる岡小子」というテーマでご講演いただきました。ゲームやテレビなど付き合い方に困っている子供たちが多いですが、今回4-6年生までの児童を対象に体育館にて対面型で講演いただきました。子供たちにはしっかり伝わり、ぐっすり眠れる日々が続いているのではないかと思います。また、11月25日岡崎医療センターの見学ツアーを6年生中心に組んでいただきました。ありがとうございます。このような機会を通じて子供たちが将来、医療関係に興味を持って進んでいく子が1人でも出たらなと願っております。

→今後とも互いに励まし合って、あたたかい関係を構築していきたい。(鈴木)

→子供たちが本当に元気で講義を受けるばかりではなく、自分たちでアンケートを取り、今の岡小の実態を調べ、分析した講演であったのすごく効果的であったと思います。(小島)

【岡崎学区総代会 会長 加藤政幸】

夏祭りの折に寄付をもらったことはもちろんですが、そのようなイベント時に保健室のような救急対応ができるスタッフを派遣してくれるとおっしゃっていただき大変感謝しております。岡崎医療センターは警備員も含め全てのスタッフがとても対応が良く、非常に気持ちが良い。私自身、昔学校に務めていたが児童と先生だけでなく、それ以外を支える人が大事であり、その雰囲気が集団を形作っていくと思う。また、病院裏の駅南中央公園の運営委員会を岡崎学区で行っております。11月26日駅南フェスタというものを開催しますのでご周知いただければと思います。これからもよろしくお願いいたします。

→夏祭りが盛大に行われたと伺っており、益々コロナ前の状況に戻りつつあると思います。

来年も要望があれば我々としては地域のために保健室等々増援は是非とも対応したいと考えているためお申し付けください。警備員等の対応についてお褒めの言葉を頂戴したが、反対にお叱りの言葉を頂戴することもある。これからもしっかり対応して、さらに良い対応ができるよう努める。ご指導賜れば幸いです。(鈴木)

4. 閉会

- ・次回以降の開催予定日は以下の通り

2023年度第4回地域医療支援運営委員会 2024年2月22日(木) 14:00~15:00

以上

文責：市川、小田